

# 第51回日本超音波医学会中国地方会学術集会, ならびに第14回中国地方講習会を開催して

山田 博康

標記の会を, 平成27年9月5日に広島県情報プラザにて開催いたしました。

日本超音波医学会の会員は, 医師のみならず, 臨床検査技師, 放射線技師, 看護師も会員になることができ, 超音波検査もこれらの職種では行うことが許可されています。また診断や治療に超音波を用いる診療科は多く, 消化器科以外に循環器科, 乳腺科, 耳鼻咽喉科, 産婦人科, 小児科, 整形外科の他, 最近では呼吸器科, 眼科, 脳外科領域もあり, 多領域に及んでいます。

今回の学術集会においても, 多職種, 多診療科の演題で47の一般演題になりました。特別講演は, 県立広島病院の同僚である川崎医科大学の畠二郎教授に「消化管の超音波診断～何をどこまでみるか～」の講演をお願いしました。そして私自身の会長講演も「消化管エコー～その診断基準とルーチン検査～」としました。ランチョンセミナーは, 広島大学消化器・代謝学茶山一彰教授の「B型肝炎の最新情報」の講演と小川真広先生による「もう一度考える: 超音波造影検査で何を診るべきか?」の講演でした。

さらに超音波医学会学術集会では, 超音波講習会も併設しますので, 循環器を林田彰寛先生に, 消化器を考田雅彦先生に, 産婦人科を伊達健二郎先生に, そして乳腺を野間翠先生に, それぞれ講師をお願いしました。超音波診断は, 異常の診断より正常(あるいは異常がないこと)の診断の方が難しいと私は考えていますので(ひょっとしたらあらゆる診断においてそうなのかもしれません), 健常人(正常の人)をたくさん診ることが大切であり, いわゆるルーチン検査が大切であると以前より考えています。そこで, 今回の講習

会ではそれぞれの講義において正常ないし, ルーチン検査を必ず説明していただくことをお願いし, 一方で一人でも多くの参加を期待して, 講習会参加費を本学会では初めての試みの無料としました。

会場運営においても, 会場責任者の県立広島病院消化器内科北本幹也先生をはじめ, 同消化器内科, 同内視鏡内科のスタッフの先生方, また同研修医の若手医師の先生方のおかげで, 学術集会を滞りなく終わることができました。協力して頂きました先生方に重ねてお礼を申し上げます。

## プログラム概要

### ■一般演題 47題

### ■特別講演

『消化管の超音波診断～何をどこまでみるか～』

演者: 畠 二郎 (川崎医科大学検査診断学)

座長: 山田博康 (県立広島病院消化器内科)

### ■会長講演

『消化管エコー～その診断基準とルーチン検査』

演者: 山田博康 (県立広島病院消化器内科)

座長: 春間 賢 (川崎医科大学・川崎医療福祉大学)

### ■ランチョンセミナー1

『B型肝炎の最新情報』

演者: 茶山一彰 (広島大学病院消化器・代謝内科学)

座長: 北本幹也 (県立広島病院消化器内科)

### ■ランチョンセミナー2

『もう一度考える: 造影超音波検査で何を診るべきか?』

演者: 小川真広 (日本大学病院消化器内科 / 超音

波診断センター)

座長：相方 浩 (広島大学病院消化器・代謝内科)

■第14回中国地方会講習会

1. 循環器『心不全における心エコー図検査の役割』

演者：林田晃寛 (社会医療法人社団十全会心臓病センター榊原病院循環器内科)

座長：上田浩徳 (県立広島病院循環器内科)

2. 消化器『腹部エコーのチェックポイント』

演者：考田雅彦 (鳥取大学機能病態内科学分野)

座長：佐藤秀一 (島根大学病院肝臓内科)

3. 産婦人科『妊娠中期・後期超音波検査のチェックポイント』

演者：伊達健二郎 (広島赤十字・原爆病院産婦人科)

座長：正岡 博 (医療法人社団正岡病院)

4. 乳腺『乳癌検診と乳腺超音波検査』

演者：野間 翠 (県立広島病院消化器・乳腺・移植外科)

座長：舛本法生 (広島大学病院乳腺外科)

